

こがわしおどり

小川鹿踊り

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 24 年 11 月 28 日

所 在 地：釜石市甲子町

保持団体：小川鹿踊保存会

開 始：明治 16(1883)年頃

公開機会：小川山神社祭、釜石まつり、
小佐野小学校運動会、
釜石市郷土芸能祭等



明治 15(1882)年から 16(1883)年、甲子村社（洞泉神社）の祭典の際に、小川集落には特別な芸能がないために下回り役ばかりさせられていることに苦慮し、以前から交流のあった遠野郷上郷村火尻（森の下）集落に伝えられている鹿踊の習得のため 3 名の若者を派遣し、6 ヶ月間農作業を手伝う傍らそれぞれ笛、太鼓、踊りの習得に励み小川に持ち帰りました。その後、小川集落の若者達が集まり集落ぐるみの練習に取組み、現在まで継承されています。

小川鹿踊りは優雅な中に野に遊ぶ鹿達の姿が表現され、当時この集落にも多く生息していたという鹿と住民との結びつきを伺うことができます。

